

第34期 東海中部精神分析セミナーのご案内

シニア・コース 8回；白波瀬丈一郎先生（東京都済生会中央病院健康デザインセンター長）,他

「メンタライジングを学ぶ」

—それはどこから来たのか、それはなんなのか、それは何処に行くのか—

4回；平井正三先生（御池心理療法センター）

「虐待の精神分析的な心理療法の実際」

ジュニア・コース12回 「精神分析的技法論」 小泉規実男・早川すみ江・浅井真奈美

主催 東海・中部精神分析セミナー事務局

小泉規実男・早川すみ江・浅井真奈美、大津直樹

※下線は、日本精神分析学会認定スーパーバイザー

寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。東海・中部精神分析セミナーは来期で34期を迎えます。2006年度より日本精神分析学会認定研修グループに認定<認定番号140308号>され、系統講義（シニア50名・ジュニア15名）、症例・事例検討会（シニア）、個人スーパービジョンのマネージメントの機能を担っています。また2019年度より、日本精神分析学会認定心理療法士・スーパーバイザー資格を取得するための精神分析的構造による面接室を活用できる「訓練スタッフ」制度を開設しています。

シニアコースの前半の連続8回白波瀬丈一郎先生にお話し頂く「メンタライジング」はピオンの対象関係論や愛着障害などがベースとなっている Fonagy,P.C らの理論で、自分や人の心を察知し理解していくことを目指しているものです。後半4回は平井正三先生に「虐待の精神分析的な心理療法の実際」についてお話し頂きます。精神分析的な心理療法を系統的・実践的に学びたい臨床家・大学院生の方に、広くご案内申し上げます。平井正三先生によるタビストック方式乳幼児観察グループ・スーパービジョン・コースはコロナ禍の影響もあり、6月を持って暫くお休みとします。

なお、今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑みて、当セミナーでは第33期よりビデオ会議システム「Zoom」によるハイブリットセミナー方式（会場参加 or オンライン同時開催）を採用しています。今期も同様の開催方式を引き続き採用します。

平井正三先生にご指導頂きました乳幼児観察は、コロナ禍が落ち着くまで休止することに致します。

期間 ; 2021年4月～2022年3月の全12回、12月以外第三日曜日

会場 ; 名古屋駅前「ウインクあいち」もしくは金山総合駅前「名古屋都市センター」。

受講料 ; シニア・コース7万円、ジュニア・コース4万円、両コース並行受講9万円。

シニア・コース ※13時から講義、15時から症例（事例）検討、17時終了。

2021年4月18日①「メンタライジングという概念- 独創的でありながら、ありふれて見える不思議」 講師・助言；白波瀬丈一郎先生

5月16日②「メンタライジングとは何か- その出自や重なり合う用語も含めて」 講師・助言；白波瀬丈一郎先生

6月20日③「メンタライジングな臨床実践- 外傷的育ちの事例を中心に」 講師：崔炯仁(いわくら病院)、解説・助言；白波瀬丈一郎先生

7月18日④「メンタライジングと境界性パーソナリティ障害- BPDを対象としたMBT(mentalization-based treatment)

講師・助言；白波瀬丈一郎先生

8月15日⑤「臨床家に求められるメンタライジングな姿勢」

講師・助言；白波瀬丈一郎先生

9月19日⑥「メンタライジングな介入技法」

講師・助言；白波瀬丈一郎先生

- 10月17日⑦「メンタライジングなグループ- MBT の導入グループ、メンタライジングな集団療法、家族によるプログラム」
講師・助言；白波瀬丈一郎先生
- 11月21日⑧「子どもを対象としたMBT(MBT-C)」
講師：西村馨（国際基督教大学）、解説・助言；白波瀬丈一郎先生
- 12月12日①「虐待の精神分析的な心理療法の実際 虐待と発達性トラウマの心理臨床のための基本的理解」講師・助言；平井正三先生
- 2022年1月16日②「子どもと家族の心理療法アセスメント 家族と親子のアセスメントと子どものアセスメント」
講師・助言；平井正三先生
- 2月20日③「子どもの精神分析的な心理療法の実際」
講師・助言；平井正三先生
- 3月20日④「親面接と連携、ケースワーク」
講師・助言；平井正三先生

ジュニア・コース 「精神分析的技法論」 & 初回面接のみの検討

ジュニア・コースの講義は9:00~10:50。講師は6月のみ早川すみ江（日本福祉大学）と浅井真奈美（日本福祉大学）が、6月以外は全て小泉規実男（小泉心理相談室）が担当します。6月以外は、事前に送信される講義ノートを予習し、私見を持って講義に臨み、終了後24時間以内に自由連想風レポートの提出を毎回求めます。ジュニアコースは講義のみ学会認定の系統講義として認定されています。初回面接検討は短時間のため認定されていません。「初回面接のみの検討」は11:00~12:10。毎回、初回面接のみの検討を行います。非言語的交流過程を含んだ詳細な面接記録の検討を通じて、精神分析的なインフォームド・コンセント、精神分析的な面接への導入の仕方を学びます。

- 2021年4月18日①「オリエンテーション、初回面接のしつらえ方・進め方①」
講師・助言；小泉規実男
- 5月16日②「面接記録の書き方と物想う心」
講師・助言；小泉規実男
- 6月20日③「初回面接のしつらえ方・進め方②」
講師・助言；小泉規実男
- 7月18日④「子どもの精神分析的な心理療法入門」
講師；早川すみ江・浅井真奈美
- 8月15日⑤「診断面接の進め方」
講師・助言；小泉規実男
- 9月19日⑥「治療契約の仕方と治療構造論」
講師・助言；小泉規実男
- 10月17日⑦「解釈技法論」
講師・助言；小泉規実男
- 11月21日⑧「転移と抵抗の理解と解釈の仕方」
講師・助言；小泉規実男
- 12月12日⑨「転移と逆転移の理解と解釈の仕方」
講師・助言；小泉規実男
- 2021年1月16日⑩「夢の取り扱い方と解釈」
講師・助言；小泉規実男
- 2月20日⑪「終結・中断・転移性治癒」
講師・助言；小泉規実男
- 3月20日⑫「精神分析的な訓練の受け方（スーパービジョン・個人分析・乳幼児観察）」
講師・助言；小泉規実男

個人スーパービジョンのマネージメント

精神分析的なスーパービジョン・スーパーバイザー、個人分析などの訓練に関する相談、情報提供、仲介を希望される受講生にマネージメントを無料で提供しています。希望者は事務局までお申し込み下さい。

訓練スタッフ制度

日本精神分析学会認定精神分析的な心理療法士又は認定スーパーバイザー資格取得を目指す臨床心理士が精神分析的な治療構造（週1回以上、45~50分）の下で継続的に心理療法を実践する場を確保するため、セミナー事務局である小泉心理相談室を活用して私費面接（3000円）を行うシステムを2019年から行っています。2020年現在、2名がこの制度を活用しています。

訓練スタッフが担当するケースを多くの方からご紹介頂けますことを切に願っています。

スーパーバイザー・ミーティング

日本精神分析学会認定スーパーバイザー、認定精神分析的な精神療法医・心理療法士を有しておられる方、もしくは実際に精神分析的なスーパービジョンを施行しておられる方を対象とします。クローズドで年一回程、セミナー終了後2時間程度行います。内容は、パラレル・プロセス等の文献研究、バイザー経験報告、今困っている問題などを巡る自由討論などです。

《お申込み方法》

お申込みは郵送・FAX・メールで受け付けます。必要事項に記載漏れがないようご注意ください。定員になり次第締め切りとさせていただきます。希望者が多い場合は、日本精神分析学会員・学会入会希望者、事例報告希望者が優先されることをご了承下さい。締め切りは3月末日。受諾の可否・受講料銀行振込方法・参考文献・Zoomによる受講方法等につきましては、仮受諾返信メールにてご連絡させていただきます。

事務局 〒446-0031 愛知県安城市朝日町2-1 Tel;0566-77-5677 FAX;0566-77-5412 E-mail;koizumi0@amber.plala.or.jp

※日本臨床心理士資格認定協会の研修証明は基準に基づいて申請します。シニア欠席者への講義録音テープは事務局内でのみ貸出可です。

<申込書>

複写可

第34期東海・中部精神分析セミナー事務局御中

20 年 月 日

氏名(年齢) (歳)

勤務先

職種・業種

連絡先住所 〒 -

メールアドレス

Fax

携帯電話

※悪天時あるいは講師の都合など、急な対応に備えるためにお知らせ下さい。

※ビデオ会議システム「Zoom」による受講をご希望の場合、必ず記入して下さい。

※受講者に配布する名簿等は作成しません。

日本精神分析学会の会員 会員・非会員(入会する予定が 有・無)

日本精神分析学会認定 精神療法医・心理療法士・スーパーバイザー (将来的に審査希望 有・無)

臨床心理士資格の有無 (有・無) (臨床心理士番号;)

第32期希望コース名等 ※ご希望のコース等の□にレ印を入れて下さい。

※シニア・ジュニア両コース希望の方は両方にレ印を入れて下さい。

1、□シニア・コース

事例(症例)報告希望 有□ 無□

希望月日

仮題

2、□ジュニア・コース

初回面接の事例(症例)報告希望 有□ 無□ 希望月日

※精神分析的に施行した面接であることを問いません。

3、□スーパーバイザー・ミーティングへの参加

4、□訓練スタッフの活用

5、□個人スーパービジョン・個人分析等のマネジメント

臨床歴・研修歴(最終学歴、セミナー・スーパービジョン・教育分析、大学院等での卒後研修、その他)